

『絵本&活動カード』
【自立活動を主とする教育課程】
中学部

中学部A1グループ 自立活動を主とする教育課程「ブレーメンの楽隊」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・劇学習で、次の展開に期待したり、展開が変わるときに気付いて、表現する。
- ・劇学習で選んだ役になり、他の役の生徒を誘う。また、誘われたことに気付く。



(1973年 評論社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(4~6)、話す(4~8)
 読む(4~12)、書く(2~6)
 数と計算(2~6)
 量と測定(2~6)
 図形(2~6)

『学習指導要領の内容』
 国語: 小一段階
 ○知技「ア(ア)・イ(ア)」
 ○思判表「アイ・Cア及びエ」
 数学: 小一段階
 ○知技「Aア(ア)㊦㊧」
 ○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○「ブレーメンの楽隊」の歌を歌う。 ○「ブレーメンの楽隊」をテレビ画面のスライド絵本を読む。	・同じセリフの繰り返しに気付けるように、強調して読む。
展開②	○劇学習で、やりたい役を登場人物の鳴き声を頼りに選ぶ。 ・登場人物(ロバ、犬、猫、ニワトリ)の役になり、他の役を誘って、ブレーメンに向かう。 ・家を見つけ、家にいるどろぼうを影と声で追い払う。	・役の鳴き声を聞いて役を選ぶことができるようにする。 ・他の役の友達を誘う。 誘ってブレーメンに向かう時は、同じ曲を使用する。 ・影絵を使用し、生徒が参加して、どろぼうを追い払うようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・良かったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・鳴き声を聞いて、やりたい役を選ぶことができる。
- ・役になって、友達を誘う時に、返事として、使用する。
- ・どろぼうを追い出す時に、影絵と動物の鳴き声が出るスイッチを使用する。

中学部A2グループ 自立活動を主とする教育課程「ブレーメンの楽隊」

絵本
解説

ねらい

- ・絵本を読みながら、次の展開に期待したり、展開が変わるときに注意を向けたりできる。
- ・影に注目し、自分も影を作りたいという気持ちを教職員に伝えることができる。

教材



絵: スペン・オットー s 訳: 矢川澄子
出版社: 1973年 評論社

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(4~12)、話す(6~12)
- 読む(4~12)、書く(2~12)
- 数と計算(2~8)
- 量と測定(2~12)
- 図形(2~18)

『学習指導要領の内容』

- 国語: 中一段階
- 知技「イ(A)」
 - 思判表「Cア」
- 数学: 中一段階
- 思判表「Bイ」
 - 学・人「Bウ」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動の始まりが分かるように同じ挨拶で始める。
展開①	○絵本の読み聞かせを聞く ○動物と鳴き声のマッチング学習(ろば・いぬ・ねこ・にわとり)	・モニター・ビックマック・絵カードを使用する。鳴き声を聞いて絵カードで選択をする。
展開②③	○ろば・いぬ・ねこ・にわたりの4グループに分かれる(場面体験①) 分かれた後、「仲間集め」と題して物語と同じように動物が順番に仲間になっていく。 ○どろぼうが現れる(場面体験②) 物語と同じ動物達の重なる影絵をだす。生徒が影絵と同じ鳴き声を出して、どろぼうを驚かして、追いつ返す。	・グループでは、動物名と鳴き声を意識できるよう(絵カード・ビックマック)を使用する。生徒同士のやり取りができるよう教員は支援する。 ・影によく注目するように声掛けを行う。可能な生徒には手などを動かすように促す。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・良かったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・ビックマックを押す時にどの動物を自分(生徒)が押すか分かるように物語と同じ動物の写真を貼る。

・絵カードはマッチング学習で使用する。選択しやすいように手元で2択(例:ろば いぬ)で選択する。

・できた影はどの動物の影か聞き、部屋を明るくした後、スクリーンを外し確認する。

中学部A3グループ 自立活動を主とする教育課程「ブレーメンの楽隊」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・絵本を読みながら、次の展開に期待したり、展開が変わるときに注意を向けたりできる。
- ・影に注目し、自分も影を作りたいという気持ちを教職員に伝えることができる。



絵: スペン・オットー・5 訳: 矢川澄子
出版社: 1973年 評論社

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(4~12)、話す(6~12)
- 読む(4~12)、書く(2~12)
- 数と計算(2~8)
- 量と測定(2~12)
- 図形(2~18)

『学習指導要領の内容』

- 国語: 中一段階
- 知技「イ(ア)」
 - 思判表「Cア」
- 数学: 中一段階
- 思判表「Bイ」
 - 学・人「Bウ」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動の始まりが分かるように同じ挨拶で始める。
展開①	○絵本の読み聞かせを聞く。 ○影とはどういう物かを見る。ロバ・イヌ・ネコ・ニワトリの形に切った紙を用いて影絵を作る。	・影になる前の動物と影に注目させ、繰り返し影と紙を見比べる。
展開②	○4匹の動物を順に重ねて影にすると、どのように見えるか影絵を作ってみる。 ○自分たちの影を作って、影は自分と同じ形にできることや、自分と同じ形にできることを経験する。	・影にする前と影をよく見比べさせる。泥棒が影に驚いたことにも触れる。 ・影によく注目するように言葉掛けを行う。可能な生徒には手などを動かすように促す。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・良かったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・影になる前と後で色の変化が分かるようにカラーで示す。
- ・生徒の人数や一度に映す動物の数に合わせ、スクリーンの大きさ等を調節する。
- ・できた影はどの動物の影か聞き、部屋を明るくした後スクリーンを外し、確認する。

中学部A1グループ 自立活動を主とする教育課程「わらしべ長者」

絵本
解説

ねらい

・絵本を読みながら、次の展開に期待したり、展開が変わるときに注意を向けたりできる。

教材



(西郷竹彦文, 佐藤忠良絵
1968年 ポプラ社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(4~8)、話す(4~12)
 読む(4~12)、書く(2~6)
 数と計算(2~8)
 量と測定(2~12)
 図形(2~8)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階

- 知技「ア(ア)・イ(ア)」
- 思判表「アイ・ア及びエ」

数学: 小一段階

- 知技「Aア(ア)㊦㊧」
- 思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○あいさつ ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○絵本「わらしべ長者」をテレビで見る。	・同じセリフの繰り返しに気づけるように、強調して読む。・「わらしべ長者」は全て通して読む。
展開②	○劇学習 ・AとBの2グループに分かれて、絵本の世界の疑似体験をする。(物の交換) ・わらしべ→みかん→反物→馬→家と交換する物が、大きくなっていくことに気づく。	・Aグループは、人と物を手渡しで交換する。Bグループは、箱に物を置き、その箱から交換したものが出てくるようにする。 ・具体物の模型を使用し、大きくなっていくことを実感できるようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○あいさつ	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・2グループに分かれて活動する。Aグループは、人を介しての物の交換。Bグループは、箱を使って、交換を行う。
- ・箱を使用した物の交換では、箱の上に物を置くことで、箱の中から物が出てくることを期待できるようにする。

中学部A2グループ 自立活動を主とする教育課程 「わらしべ長者」

絵本
解説

ねらい

- ・絵本を読みながら、次の展開に期待したり、展開が変わるときに注意を向けたりできる。
- ・困っている人をみて自分の持つ物を渡したい気持ちを生徒同士で伝えあったり教職員に伝えたりすることができる。

教材



(西郷竹彦文, 佐藤忠良絵
1968年 ポプラ社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(4~12)、話す(6~12)
- 読む(4~12)、書く(2~12)
- 数と計算(2~8)
- 量と測定(2~12)
- 図形(2~18)

『学習指導要領の内容』

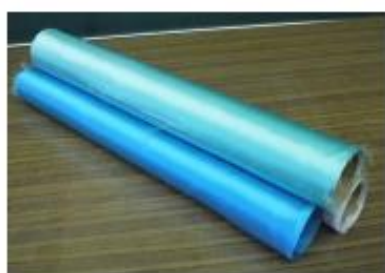
- 国語: 中一段階
- 知技「ア(ア)」
 - 思判表「Cア」
- 数学: 中一段階・小一段階
- 思判表「Cア(イ)ア」
 - 知・技「Aア(ア)ア」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認をする。	・活動の始まりが分かるように同じ挨拶で始める。
展開①	○絵本の読み聞かせ ○絵本クイズ	・モニター・ICTパソコン・絵カードを使用する。物語のクイズを聞いて絵カードで答える。
展開②③	○仏様が影で登場(教員)し、お告げを聞く。 3グループに分かれる(場面体験①)3つに分かれ、各地点から「わらしべ」を持ってスタートをする。 生徒一人一人3回物々交換をしていく。【人と人のやり取り】(検討中) ○最後にもう1度仏様が登場し、生徒一人一人が手に入れたものを伝える。	・生徒同士や教員とのやり取りがスムーズにできるように支援する。生徒が手などを動かせるように教員は促す。 ・交換する物には絵カード・実物・匂い(食品等)を使用する。最後の交換は、各生徒が好きなもの・興味をもつものにする(検討中)
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・良かったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・絵カードは絵本クイズの学習で使用する。選択しやすいように手元で2択(例:うま あぶ)で選択する。展開①

・仏様(教員)のお告げは、プロジェクターやライトの光を使用して影を作り行う。展開②③

・物々交換をする時は、物の名前を誇張して相手に伝える。

中学部A3グループ 自立活動を主とする教育課程「わらしべ長者」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・絵本を読みながら、次の展開に期待したり、展開が変わるときに注意を向けたりできる。
- ・絵本の世界を体験しながらのやり取りを通し、コミュニケーションすることができる。



(西郷竹彦文, 佐藤忠良 絵
1968年 ポプラ社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(4~12)、話す(6~12)
- 読む(4~12)、書く(2~12)
- 数と計算(2~8)
- 量と測定(2~12)
- 図形(2~18)

『学習指導要領の内容』

- 国語: 中一段階
- 知技「イ(ア)」
 - 思判表「Cア」
- 数学: 中一段階
- 思判表「Bイ」
 - 学・人「Bウ」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動の始まりが分かるように同じ挨拶で始める。
展開①	○絵本の読み聞かせを聞く。	・集中が切れてしまったと思われる生徒には画面に注目するよう促す。
展開②	○絵本の世界を体験する。 わらしべ・みかん・反物の模型を使い話の流れに沿って交換する。 ○話にてでくる言葉を絵カードなどで確認する。	・やり取りをしていることが分かるように「ちょうだい」「どうぞ」など決まった言葉掛けを繰り返し行う。 ・個々の実態に合った方法で行う。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・良かったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・話のイメージが湧くように模型を使う。
- ・やり取りをしていることが分かるように「ちょうだい」「どうぞ」など決まった言葉掛けを繰り返し行う。
- ・だんだん良いものになっていくのが分かるように、交換をした際は近くの教職員が「やったね」「すごいね」などの言葉で盛り上げる

中学部A1グループ 自立活動を主とする教育課程 「かえるをのんだととさん」

絵本
解説

ねらい

- ・スライド(絵本)を見聞きし、展開に期待したり、場面変化に気が付いたりすることができる
- ・ととさんのお腹に入れるものに気が付いたり、視線や身振り等で選ぶことができる。

教材



(作:日野 十成 絵:斎藤 隆夫
2008年 福音館書店)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(4~8)、話す(2~8)
- 読む(2~6)、書く(2~8)
- 数と計算(1~6)
- 量と測定(1~8)
- 図形(1~6)

『学習指導要領の内容』

- 国語: 小一段階
- 知技「ア(ア)」
 - 思判表「アイ」
- 数学: 小一段階
- 知技「Aア(イ)㊦・Bア(ア)㊦
 - 思判表「Bア(イ)㊦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○始まりの歌「はじめの一步」	・授業の始まりを意識する。
展開 ①	○スライド絵本「かえるをのんだととさん」を読む (・生徒が好きなシーンは繰り返す。)	・二人体制で声色を変えて展開する。オノマトペは二人で強調して伝える。
展開 ②	○役決め ・ビックマックの音(かえる・へび・きじ)を鳴らして、役の提示と確認をする ・やりたい役を選ぶ。(キャリア②⑩)	・生徒の選択意思や表現を見逃さないようにする。 ・展開によって活動の場を分ける。
展開 ③	○劇学習 ・ととさんの模型に選んだものを入れる。 ・選んだ役の鳴き声を出す。(ビックマックを押す)(キャリア④⑥⑦)	・活動後、すぐに光と言葉で変化を加え、「(入れることが)できた⇒ととさんがすっきりした」ことを伝える。
まとめ	○振り返り ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・プロジェクターで読み聞かせ
- ・ビックマックにそれぞれの役(かえる、へび、きじ)の鳴き声を入れて、聞いたり、鳴らしたりする。



- ・ととさんの口の中からお腹に入れたことが分かるよう、透明にする。また入れた後、ライトを照らすこと、「○○さんありがとう」と伝えることで、展開に気付けるようにする。

中学部A3グループ 自立活動を主とする教育課程 「かえるをのんだととさん」

絵本
解説

ねらい

- ・スライド(絵本)を見聞きし、展開に期待したり、場面変化に気が付いたりすることができる。
- ・ととさんのお腹に入れるものがわかる。ととさんの表情の変化に気付くことができる。

教材



(作:日野 十成 絵:斎藤 隆夫
2008年 福音館書店)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(4~8)、話す(4~12)
- 読む(4~12)、書く(2~6)
- 数と計算(2~8)
- 量と測定(2~12)
- 図形(2~8)

『学習指導要領の目標・内容』

国語: 小一段階

- 目標「(1)イ」
- 思判表「Aアア及びエ」

数学: 小一段階

- 思判表「(イ)イ(イ)イ」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○始まりの歌「はじめの一歩」	・活動は視覚提示を行う ・授業の始まりを意識する。
展開①	○スライド絵本「かえるをのんだととさん」を読む	・二人体制で声色を変えて展開する。オノマトペは強調して伝える。
展開②	○役決め ・ピックマックの音(かえる・へび・きじ)を鳴らして、役の提示と確認をする ・やりたい役を選ぶ(キャリア②⑩)	・絵カード、具体物、ピックマックを使って選ぶ。
展開③	○劇学習 ・2択または3択で決めた役を選ぶ。 ・ととさんの模型に選んだものをいれる。	・生徒同士で活動をしている様子が見やすいように配置する。 ・活動後、ととさんがすっきりしたことに光や音、言葉で伝える。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・具体物を使うことで、絵本のイラストの動物のイメージや特徴をより明らかにし、触れることや鳴き声を通じて、動物の理解を深める。



・ととさんの形をした箱を用意し、口に入れることで、「ととさんが飲んだ」ことを理解する。

中学部A1グループ 自立活動を主とする教育課程 「さんまいのおふだ」 ねらい

絵本
解説

教材

- ・絵本の世界に触れ、それぞれのかたちで物語の面白さを味わう。
- ・三枚のお札とそれに見立てた活動を通じて、物語の理解を深め、追体験を味わう。



(作:石崎淳司 絵:大島妙子
2012年 講談社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

受け止め(6~12)、表現(4~18)
見ること(4~18)、操作(2~18)
数と計算(4~12)
量と測定(2~12)
図形(2~18)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階

○知技「ア(イ)イ(ア)」

○思判表「cイ及びエ」

数学:小一段階

○知技「Aア(ア)④⑤Bア(ア)④Cア(ア)④」○思判表「Aア(ア)④⑤Bア(ア)④⑤Cア(ア)④⑤」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○「始めの一步」を歌う。 ○今日の活動の確認。	・活動は視覚提示を行う
展開①	○キーワード「おふだ」 ○絵本「3枚のお札」を読む。	・生徒一人一人におふだを提示する。 ・作品の世界観が伝わるように、2人が分担して声色を変える。
展開②	○劇学習 ・「大きな●●出ておくれ」と言って、お札を投げる →大きな●●が出てくる。 しかし、山姥に乗り越えられてしまう。 (キャリア教育①⑥⑦⑨) ・やまんばから逃げたい気持ちを表現する。(キャリア教育⑪)	・大きな音や声を出すことで、臨場感を出す。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・良かったところのフィードバック ○挨拶	

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・やまんばから逃げる時のドキドキ感を感じる。

・やまんばに気付き、やまんばに対して、嫌だ、何とかしたいという気持ちを出せた時に、それを認める。



・ふだを投げることで、「声」、「砂」、「川」の3体験を経験し、やまんばから逃げることができる。

中学部A2グループ 自立活動を主とする教育課程 「さんまいのおふだ」 ねらい

- ・絵本の世界に触れ、それぞれのかたちで物語の面白さを味わう。
- ・三枚のお札とそれに見立てた活動を通じて、物語の理解を深め、追体験を味わう。

絵本
解説

教材



(作:石崎淳司 絵:大島妙子
2012年 講談社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

受け止め(6~12)、表現(4~18)
見ること(4~18)、操作(2~18)
数と計算(4~12)
量と測定(2~12)
図形(2~18)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階

○知技「ア(イ)イ(ア)」

○思判表「cイ及びエ」

数学:小一段階

○知技「Aア(ア)㊦㊧Bア(ア)㊨Cア(ア)㊩」
○思判表「Aア(ア)㊦㊧Bア(ア)㊨Cア(ア)㊩」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○「始めの一步」を歌う。 ○今日の活動の確認。	・活動は視覚提示を行う
展開①	○キーワード「おふだ」 ○絵本「3枚のお札」を読む。	・生徒一人一人におふだを提示する。 ・作品の世界観が伝わるように複数の声色で読み聞かせをする。
展開②	○グループにわかれて体験をする。 ・「小僧」、「声」、「砂」、「川」、「和尚」の5役を生徒が演じる。 ・やまんばから「小僧」役が逃げるので「声」、「砂」、「川」の役が生徒が手助けする。 ・「和尚」役はやまんばから逃げ切った「小僧」を賞賛する。	・配役がわかりやすいように色別の衣装を用意する。 例:和尚→紫色
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動を映像で振り返る。 ・よかったところのフィードバック ○挨拶	・画面に注目できるように言葉かけする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・キーワード「おふだ」

授業の最初におふだを生徒に提示してお話の鍵は「おふだ」という意識付けができるようにする。

・「声」、「砂」、「川」の3体験

実際に体験をする。

①音を出す生徒(ビックマック等)

②おふだを投げる生徒

2役用意する。

中学部A3グループ 自立活動を主とする教育課程「さんまいのおふだ」

絵本
解説

ねらい

- ・絵本の世界に触れ、それぞれのかたちで物語の面白さを味わう。
- ・三枚のお札とそれに見立てた活動を通じて、物語の理解を深め、追体験を味わう。

教材



(作:石崎淳司 絵:大島妙子
2012年 講談社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

受け止め(6~12)、表現(4~18)
 見ること(4~18)、操作(2~18)
 数と計算(4~12)
 量と測定(2~12)
 図形(2~18)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階

○知技「ア(イ)イ(ア)」
 ○思判表「イ及びエ」

数学:小一段階

○知技「Aア(ア)②③Bア(ア)②C
 ア(ア)②」○思判表「Aア(ア)②③B
 ア(ア)②③Cア(ア)②③④」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○「始めの一步」を歌う。 ○今日の活動の確認。	・活動は視覚提示を行う
展開1	○絵本「3枚のお札」を読む。	・作品の世界観が伝わるように、2人が分担して声色を変える。
展開2	・2人1組になり、「お札をはがす人」と「VOCAで表現する人」になる。(キャリア教育⑥⑧) ・お札を一回につき一枚ずつボードからはがし、VOCAで「大きな大きな●●(木、滝、砂山)になれ」と言う。 ・大きな●●が出てくるが山姥に乗り越えられてしまう。(キャリア教育①) ・お寺に着き、VOCAで「無事、お寺に着くことができました」で、終わりを確認する。(キャリア教育⑪)	・大きな音や声を出すことで、臨場感を出す。
まとめ	○本時の活動を振り返る ○挨拶	

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・お札を三種類と、ビックマックを三種類(声、川、砂山)を用意する。
- ・「お願いする」を読み、お札を取る。「ビックマックをとる」を読み、ビックマックを押すと、「大きな大きな●●になれ!」と言って、木や川、砂山が出てくる。



中学部A1グループ 自立活動を主とする教育課程 「さんまいのおふだ」

絵本
解説

ねらい

- ・話の流れに見通しをもち、教員が示したものに注目したり、場面に沿った動きをしたりする
- ・ものに触れたり、操作したりする経験を通して、形の違い、特性に気付く。

教材



石橋 洋司(作) 大島妙子(絵)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(1～12)、話す(1～12)
 読む(1～6)、書く(1～6)
 数と計算(1～6)
 量と測定(1～6)
 図形(1～6)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階
 ○知技「ア(イ)・イ(ア)」
 ○思判表「Aイ・Cア」
 数学: 小一段階
 ○知技「Aイ Cイ」
 ○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○始まりの歌 ○出席確認 ○本日の予定	スイッチを使って挨拶を行う。
展開①	○『さんまいのおふだ』を画面に映し読み聞かせをする。	・物語を要約した台本を作成し、役割を決めて、登場人物の違いに気付きやすくする。
展開②	○体験学習 ・お札を受け取って確かめる。 ・お札を張って逃げる。 ・お寺に逃げ込む。	・3枚のお札の形状を変え、生徒たちが気付きやすくする。 ・場面に合わせた大道具を作り、場面の変化に気付きやすくする。 ・教職員が衣装を着て演者となり、臨場感を出す。
まとめ	○本時の活動を振り返る。 ・取り組んだ活動の確認 ・良かった所のフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・お札の形状を3種類変え、形の違いを手で確認してから、お札を投げるように促し、形の違いを意識できるようにした。



・それぞれの場面の臨場感が出るように、大道具を作成した。

中学部A2グループ 自立活動を主とする教育課程 「さんまのおふだ」

絵本
解説

ねらい

- ・物語に出てくる「おふだ」や「大きな、大きな川」「大きな、大きな砂山」の言葉が表す事物やイメージが劇活動を通して分かる。
- ・やまんばが、川や砂山を乗り越えてきたことを確認して、おふだを使うことができる。

教材



石橋 洋司(作) 大島妙子(絵)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(1~12)、話す(1~12)
読む(1~6)、書く(1~6)
数と計算(1~6)
量と測定(1~6)
図形(1~6)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階

- 知技「ア(ア)(イ)」
- 思判表「アイ」

数学: 小一段階

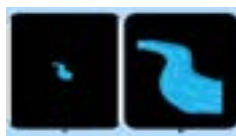
- 知技「A数量の基礎ア(ア)アイ」
- 思判表「A数量の基礎ア(イ)ア」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○本日の予定	・授業の始まりを意識する。 ・モニターに授業内容を提示する。
展開①	○『さんまのおふだ』を画面に映し、物語を聞く。	・「大きい」が伝わるように読み進める。
展開②	○振り返り ・登場人物を確認する。 ・大きい方を選ぶことを確認する。 ○体験活動 ・やまんばに、視線を向ける。 ・やまんばが、川や砂山を乗り越えたことを確認して、おふだを使う。 ・タブレット端末で大きい方のシンボルを選ぶ。	・お札をどっちもクリップに吊るす。 ・お札に視線を向けたら、お札を使う。 ・大きい方を選ぶように言葉掛けをする。 ・小さいシンボルには、音声が出ないようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・本時の目標を達成できたか確認する ○挨拶	・本時の目標をモニターに映し出す。 ・授業の終わりを意識する。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・タブレット端末のコミュニケーションアプリを使用して、大小のシンボルを貼り、大きい方のシンボルに音声を録音した。(まあだまだ、おしっこちよろちよろでてるとこ、大きな大きな川になれ、大きな大きな砂山になれ)
- ・それぞれの場面の臨場感が出るように、大道具を作成した。

中学部A3グループ 自立活動を主とする教育課程 「さんまいのおふだ」

絵本
解説

ねらい

- ・ものの大小と色の違いに気付き、選び取ることができる。
- ・登場人物の行動を模倣し、場面の体験活動をする。

教材



(石崎洋司 文 大島妙子 絵)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(1~18)、話す(1~8)
 読む(1~8)、書く(1~12)
 数と計算(1~8)
 量と測定(1~8)
 図形(1~8)

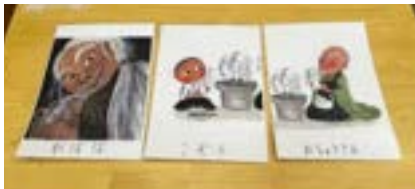
『学習指導要領の内容』
 国語: 中学部一段階
 ○知技「ア(アイ)・イ(エ)」
 ○思判表「Aア・Cアエ」
 数学: 中一段階
 ○知技「Aア(ア)㊦」「B(ア)㊦」
 ○思判表「Aア(イ)㊦」「C(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶	日直の生徒と挨拶をする。 本時の流れを説明する。
展開①	○読み聞かせ ○登場人物の紹介 ○個別課題	スライドに注目できるように、照明や配置の工夫しスライドに効果を付ける。 個別課題では、実態に応じて具体物を用意し、適宜使用する。
展開②	○体験活動 ・二枚目のお札(川の体験) ・三枚目のお札(砂山の体験)	始めにお札を受け取り、雰囲気作りをする。 川と砂山のそれぞれの活動を始める前に、「大きな大きな●●になれ」と声掛けをし、お札を投げる。
まとめ	○本時の活動を振り返る ○挨拶	生徒各自の良かった点などを振り返る。 「北寺」のパネルを提示して、本時のまとめを伝えて、授業を終える。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・読み聞かせの際画面に注目できるように効果音や登場人物に動きを付ける。

・登場人物のパネルや具体物など生徒の実態に合わせ、質問を適宜変えて提示する。

・川の体験学習では、生徒が水の中で手を動かすことを促すために「ばしゃんばしゃん」と声掛けをする。

・砂山の体験学習では、砂山の歩きづらさを感じさせるために、「ずんがずんが」と声掛けをする。

中学部A1グループ 自立活動を主とする教育課程 「たいこうちたろう」

絵本
解説

ねらい

- ・絵本を読みながら、次の展開に期待したり、展開が変わるときに注意を向けたりできる。
- ・砂から漏れる光に気づき、紫の小石を取り出そうとする。

教材



(作: 庄司 三智子
2013年 佼成出版社)
【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(4~8)、話す(4~12)
読む(4~12)、書く(2~6)
数と計算(2~8)
量と測定(2~12)
図形(2~8)

『学習指導要領の内容』
国語: 小一段階
○知技「ア(ア)・イ(イ)」
○思判表「アイ・シア及びエ」
数学: 小一段階
○知技「AA(ア)㊦㊧」
○思判表「AA(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○あいさつ ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う
展開①	○はじめのあいさつ	・「はじまりの歌」を歌うことで、はじまりが意識できるようにする。
展開②	○スライド絵本「たいこうちたろう」を読む。 ○劇学習 ①カラスの鳴き声に気づき、カラスの模型を探す。(キャリア教育 ①) ②河童が登場し、河童にきゅうりの模型を「どうぞ」と言いながら渡す。(キャリア教育②③⑥⑧)	・スライド絵本「たいこうちたろう」を読む。 ・鳴き声が流れた後、カーテン越しからカラスが出し、カラスに気付くことができるようにする。 ・河童が、キュウリを欲しいと伝えることで、渡したい気持ちを育てる。
まとめ	○本時の活動を振り返る。 ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○あいさつ	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・ 鳴き声と共にカーテンに隠れた、カラスとタカが登場する。気づきを促す。



- ・ 太鼓を叩くと、暗くなった部屋で、カーテン越しにLEDライトに照らされた龍が登場する。
- ・ 龍が、雨を降らせる設定で、スズランテープを動かし、雨を感じさせる。

中学部A2グループ 自立活動を主とする教育課程 「たいこうちたろう」 ねらい

絵本
解説

- ・絵本の世界に触れ、それぞれのかたちで物語の面白さを味わう。
- ・たいこうちたろうとそれに見立てた活動を通じて、物語の理解を深め、追体験を味わう。

教材



(著書: 庄司三智子
2013年 佼成出版社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

受け止め(6~12)、表現(4~18)
見ること(4~18)、操作(2~18)
数と計算(4~12)
量と測定(2~12)
図形(2~18)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階

○知技「ア(イ)イ(ア)」

○思判表「イ及びエ」

数学: 小一段階

○知技「Aア(ア)㊦㊧Bア(ア)㊨C
ア(ア)㊩」○思判表「Aア(ア)㊦㊧B
ア(ア)㊨㊩Cア(ア)㊦㊧㊨」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○あいさつ。 ○「始めの一步」を歌う。 ○今日の活動の確認。	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○キーワード「たいこ」 ○主人公「たろう」になり雨が降らないことで村困っている村人の動画を観る。	・生徒一人一人に太鼓を提示する。 ・動画を観る時は生徒の見え方や配置に注意する。
展開②	○グループに分かれて体験をする。(2グループ) ○カラス、タカに導かれて天狗や河童(教員が仮装)に出会いやり取りの学習をする。 ○雷神様に出会い一緒に太鼓をたたく。 ○龍に出会い、雨が降ってくる体験をする。 ○村人が雨が降ったことで助かっている動画を観る。	・実物(きゅうり)を使ったり、風を肌で感じる体験をしたりと生徒の感覚に働きかける活動をする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動を映像で振り返る。 ・よかったところのフィードバック ○あいさつ	・画面に注目できるように言葉かけする。

活動の教材と使い方

絵本
解説

活動
解説



・太鼓

龍を呼び出す時に使う。生徒の実態に応じて太鼓を用意する。

- ①カプセル引っ張って鳴らす太鼓
- ②パチを持って鳴らす太鼓
- ③素手で叩く太鼓 3パターン用意する。

・きゅうり

旅の途中できゅうりみつけて引っ張る活動をする。



・うちわ

旅の途中でうちわをみつけて引っ張る活動をする。

・衣装

教員が天狗、雷神、河童になりきり、生徒とやり取り学習をする。



・龍 LEDライトで光る。

・カラスとタカ 生徒の旅の案内係。



中学部A3グループ 自立活動を主とする教育課程「たいこうちたろう」 ねらい

- ・絵本話を楽しみ、展開を知る。
- ・絵本に登場する野菜の名前を理解したり、やりとりを経験する。

絵本
解説

教材



(著書: 庄司三智子
2013年 佼成出版社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

受け止め(6~12)、表現(4~18)
見ること(4~18)、操作(2~18)
数と計算(4~12)
量と測定(2~12)
図形(2~18)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階

○知技「ア(イ)イ(ア)」

○思判表「cイ及びエ」

数学: 小一段階

○知技「Aア(ア)㊦㊧Bア(ア)㊨Cア(ア)㊩」○思判表「Aア(ア)㊦㊧Bア(ア)㊨Cア(ア)㊩」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○あいさつ。 ○「始めの一步」を歌う(聞く)。 ○今日の活動の確認。	・活動は視覚提示を行う。 ・モニターも動きを付けて、注目しやすくする。
展開①	○モニター(インタラクティブボード)を使って、話の読み聞かせを行う。 ○読み聞かせのあと、振り返りを行い、本人が考える機会を設ける。	・話に音楽をつけることで、注目しやすくする。 ・話の内容に沿って、登場人物や物語の展開について、振り返りを行う。
展開②	○曜日(月、火)ごとに、国語的な内容と数学的な内容に分ける。 ○国語的な内容 話に出てくる「きゅうり」を使って、野菜を生徒の実態に合わせて並べ、「きゅうりをください」という。 ○数学的な内容 きゅうりの本数や、大小について問う。	・生徒に実態に応じて、内容を分けていく。
まとめ	○あいさつ	・終わりを意識する。

活動の教材と使い方

絵本
解説

活動
解説



1~2チームに実態に分けて取り組む。

○国語的な内容

ナス、カブ、キュウリの中から、音声言語で示されたものを選ぶ。選んだ後、「ください」「どうぞ」「ありがとう」のやり取りを行う。

○数学的な内容

きゅうりを教員と数えながら貼り、総数をカードで選ぶ。大小の異なるきゅうりを前にして、大きいキュウリを選び、教員が扮した天狗に渡す。

中学部A1グループ 自立活動を主とする教育課程「アリババと40人のとうぞく」

絵本
解説

ねらい

・絵本を読みながら、次の展開に期待したり、展開が変わるときに注意を向けたりできる。

教材



(作:小沢 正 小学館)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

聞く(4~12)、話す(4~18)
読む(4~12)、書く(2~12)
数と計算(2~24)
量と測定(2~18)
図形(2~18)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階

○知技「ア(ア)・イ(ア)」
○思判表「アイ・ア及びエ」

数学:小一段階

○知技「Aア(ア)㊦㊧」
○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○絵本「アリババと40人のとうぞく」を読む。 ○絵本の読み聞かせの中で、呪文を一緒に唱える。	・同じセリフの繰り返しに気付けるように、強調して読む。
展開②	○劇学習① アリババ役となって、呪文を唱えて扉を開ける。 ○劇学習② アリババ役になって、洞窟に入り、宝物を選ぶ。 ○劇学習③ アリババ役になって、選んだ宝物を持って逃げる。追ってきた盗賊とやりとりを行う。	・アリババ役を意識できるように、教員がアリババの衣装を着る。 ・光や照明で洞窟に入ったことを分かりやすくする。 ・教室の外に逃げ、追いかけられる距離を長くする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・箱の蓋を開けることで、中にある宝の光に気付くことができる。そのことで、自分ですんで蓋を開けることを促す。



・「ひらけごま」の呪文を唱えると、扉が開く。開いた先に宝箱がある状況を楽しめるようにする。
そのことで、呪文を唱えることの意味付けができる。

中学部A2グループ 自立活動を主とする教育課程「アリババと40人のとうぞく」

絵本
解説

教材

ねらい

物語に登場する言葉(キーワード)に気付き、自分でも表現しようとする。
宝物を見付け出し、自ら手を伸ばしたり、つかもうとしたりする。



(作:小沢 正 2007年 小学館)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(4~12)、話す(4~8)
読む(4~6)、書く(4~12)
数と計算(2~8)
量と測定(2~8)
図形(2~8)

『学習指導要領の内容』
国語:小一段階
○知・技「アア(イ)」
○思・判・表「Aア」「Cエ」
数学:小一段階
○知・技「Aア(ア)㊦」
○思・判・表「Cア(イ)㊦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ・今日の授業予定	・PCのスライド機能を用いて、簡潔に説明する。
展開①	○読み聞かせ ・PCのスライドショーや絵本を使って物語を見聞かせる。	・テレビを2台使用して注目を促す。遠くの画面に注目することが難しい生徒には、手元に教科書を準備する。 ・読み手を2人(男女)にして、登場人物を意識できるようにする。
展開②	○物語に即した活動 2グループに分けて活動 ・「ひらけ、ごま」をそれぞれの方法で表現する。 ・宝物を見付け、自ら手を伸ばしたり、つかもうとしたりする。 ・盗賊のお頭に見付からないように、宝物を持ち続ける。	・教室をカーテンで仕切り、グループの代表者が「ひらけ、ごま」と表現することで洞穴へと続く扉が開くようにする。 ・宝物は、生徒が興味をもちやすい光る玩具や音の鳴る教材を準備する。自分で宝物を見付け出せるようにする。 ・追いかけてくる盗賊に気付かれないように別の教室に逃げる体験をし、ドキドキ感や雰囲気を感じられるようにする。
まとめ	○挨拶 ・本時の振り返りをする。	・本時の活動を簡単に振り返る。 ・次回の予定を簡潔に伝え、期待感をもてるようにする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・生徒が見やすいように、分配器を使用し、2つの画面で絵本の提示を行う。遠くの画面に注目することが難しい生徒には、手元に絵本を準備する。



写真1



写真2

・教室をカーテンで仕切り、「ひらけ、ごま」と表現することで、洞穴へと続く扉(写真1)が開き、中へ進んでいくと、宝物が登場する(写真2)ように設定した。



・それぞれの生徒にとって、宝物(手にしたい)と思える教材(キラキラ光る玩具や音の鳴る教材)を準備する。
・生徒の実態に応じて、布で隠れた状態や箱の中にある状態から、自分で宝物を見付け出せるようにする。

中学部A3グループ 自立活動を主とする教育課程「アリババと40人のとうぞく」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・不思議な呪文を唱えるとほら穴が出現することが分かる。
- ・好きな宝物を自分で選択することができる。



(作:小沢 正 2007年 小学館)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(1~24)、話す(1~18)
- 読む(1~18)、書く(1~12)
- 数と計算(2~12)
- 量と測定(2~8)
- 図形(2~18)

『学習指導要領の内容』

- 国語: 小一段階
- 知技「ア(イ)」
 - 思判表「A(イ)」
- 数学: 小一段階
- 知技「Bア(ア)㊦」
 - 思判表「Cア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○あいさつ ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○読み聞かせ ○不思議な呪文を唱える練習	・同じセリフの繰り返しに気付けるように、強調して読む。
展開②	○物語の体験 ・不思議な呪文を使って、ほら穴を開ける。 ・中に進み、宝物を発見する。 ・宝物を選択したところで、盗賊が現れて逃げる。 ・盗賊がいなくなるまで、隠れて静かに待つ。	・腕を回す、前に突き出す動きと一緒に呪文を唱える。 ・「とじろ ごま」を使ってほら穴を閉じることができる場合と、閉じることができずに盗賊に追われる場合をランダムに体験する。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○あいさつ	・選んだ宝物の確認や、盗賊から逃げて静かにできたかどうかの確認をする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・不思議な呪文「ひらけごま」を用いて岩を動かし、中へ進んでいくと、宝物が登場するように設定した。



- ・宝物は、光る教材、音が鳴る教材、素材を感じる教材等、五感を使って選択できるようにした。



- ・分配器を使用し、2画面で絵本の提示をおこない、一人一人の生徒が画面を見やすくした。

中学部A1グループ 自立活動を主とする教育課程 「アリババと40人の盗賊」

絵本
解説

ねらい

- ・決まり言葉に気付き、音声を模倣したり、表情や身振りで表現することができる。
- ・物語に見通しをもち、場に応じた行動をとることができる
- ・金貨の存在に気付き、手と目を協同させて金貨を取りまでの数を意識する。

教材



『アラビアンナイト』より
文・小沢正 絵・赤坂三好

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(4～18)、話す(4～12)
- 読む(2～12)、書く(4～2)
- 数と計算(2～8)
- 量と測定(2～12)
- 図形(2～8)

『学習指導要領の内容』

- 国語：小一段階
- 知技「ア(イ)」
 - 思判表「Aア・Cエ」
- 数学：小一段階
- 知技「Aア(ア)㊦㊧」
 - 思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○あいさつ ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○絵本「アリババと40人の盗賊」を読む。	・プロジェクターを使って読み聞かせを行う。 ・教職員がそれぞれ役を担当する。
展開②	○物語体験 ・「ひらけゴマ」で扉を開ける活動 ・コインを集める活動 ・宝を持って隠れる活動	・言葉に合わせて身振りを付け言葉のイメージをもちやすくする。 ・マジックテープで張り付けたコインを引っ張ってははずす。 ・静かにするように伝え、静かにできないときは、コインがとられてしまう体験をする。
まとめ	○活動の振り返り あいさつ	・楽しかったか、ドキドキしたか身振りを交えて聞く。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・アリババと盗賊の衣装を作成し、役の違いに気付けるようにした。
- ・岩の扉を作成し、奥にライトを付けた財宝を設置し、場面の変化を意識できるようにした。
- ・木で作ったコインをマジックテープで張り付け、指やクリップではがす。

中学部A2グループ 自立活動を主とする教育課程 「アリババと40人の盗賊」

絵本
解説

ねらい

- ・期待感をもち「開けゴマ！」のキーワードをそれぞれの方法で表現する。
- ・3までの数唱をしたり、具体物(金貨)を操作して数の概念に触れる。

教材



『アラビアンナイト』より
文・小沢正 絵・赤坂三好

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(4～18)、話す(4～12)
読む(2～12)、書く(4～2)
数と計算(2～8)
量と測定(2～12)
図形(2～8)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階
○知技「ア(イ)」
○思判表「Aア・Cエ」
数学: 小一段階
○知技「Aア(ア)㊦㊧」
○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・見通しをもてるように、活動ごとにシンボルを提示する。
展開①	○絵本「アリババと40人の盗賊」を読む。	・プロジェクターを使って読み聞かせを行う。
展開②	○物語体験 ・「ひらけゴマ」で扉を開ける活動 ・コインを集める活動 ・コインを使って自動販売機を使用する活動 ・宝を持って隠れる活動	・せーのの掛け声で発声する。発声が難しい場合はVOCAを使用する。 ・マジックテープで張り付けたコインを引っ張ってははずす。 ・三枚入れないと欲しいものが出てこない自動販売機を使用する。
まとめ	○活動の振り返り ○挨拶	・楽しかったか、ドキドキしたか身振りを交えて聞く。

活動の教材と使い方

絵本
解説

活動
解説



- ・岩の扉を作成し、奥にライトを付けた財宝を設置し、場面の変化を意識できるようにした。
- ・木で作ったコインをマジックテープで張り付け、指やクリップではがす。
- ・手に入れたコインを使う活動を通して、興味・関心と数の学習を結びつける。

中学部A1グループ 自立活動を主とする教育課程「ジャックと豆の木」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・相手と物を「もらう」「渡す」のやりとりができる。
- ・友達と協力して、物語の体験学習を進めていくことができる。



(再話・絵:ジョン・シェリー/訳:おびかゆうこ 2012年 福音館書店)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(4~12)、話す(4~18)
読む(4~12)、書く(2~12)
数と計算(2~24)
量と測定(2~18)
図形(2~18)

『学習指導要領の内容』
国語:小一段階
○知技「ア(イ)」
○思判表「A(イ)」
数学:小一段階
○知技「Bア(ア)㊦」
○思判表「Cア(イ)㊦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示で行う。
展開①	○読み聞かせ	・スライドを使用した読み聞かせを行う。台詞の繰り返しに気付くことができるようにする。
展開②	○劇学習 ①不思議な男に会い、牛と豆を交換する。 ②母に叱られ、豆を投げられてしまう。 ③大きな豆の木ができる。 ④宝物を取ると巨人が現れ、追いかける。 ⑤みんなで豆の木についたツルを引っ張って倒す。	・登場人物に気付くことができるように、登場前に効果音を出す。 ・巨人から、生徒に向かって声を掛ける。「誰だ、宝を取ったのは」と声を掛け、生徒が豆の木を倒す気持ちを促す。
まとめ	○本時の活動を振り返る。 ・取り組んだ活動の確認 ・良かったところのフィードバック ○挨拶	・劇学習で頑張ったことを発表する。本時の活動を思い出せるように実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



牛と豆の大きさの違いが分かるように実際に触れることができるようにする。また、見比べることができるようにする。



豆の木は、生徒が見上げることができる大きさにした。そこから巨人が顔を出して、声を出し、豆の木を倒すきっかけとなるようにする。

中学部A2グループ 自立活動を主とする教育課程「ジャックと豆の木」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・働き掛けに応じて、声を出したり、場面に沿った動きをしたりすることができる。
- ・登場人物の動きや声(音)を手掛かりにして、対象の存在に注目することができる。



(再話・絵:ジョン・シェリー/訳:おびかゆうこ 2012年 福音館書店)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

聞く(4~12)、話す(4~8)
読む(4~6)、書く(4~12)
数と計算(2~8)
量と測定(2~8)
図形(2~8)

『学習指導要領の内容』

国語:小1段階
○知・技「アア(ウ)」
○思・判・表「アイ」「Cア」
数学:小1段階
○知・技「Cア(ア)㊦」
○思・判・表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ・今日の授業予定	・タブレット端末のスライド機能を用いて、簡潔に説明する。
展開①	○読み聞かせ ・タブレット端末のスライド機能や絵本を使って物語を見聞かせる。	・テレビを2台使用して注目を促す。遠くの画面に注目することが難しい生徒には、手元に絵本を準備する。 ・読み手を2人(男女)にして、登場人物を意識できるようにする。
展開②	○物語に即した活動 2グループに分けて活動 ・登場人物に扮した教職員と物を介したやり取りをする。 ・高い場所から現れる巨人の動きや声を手掛かりに注意を向ける。 ・みんなで協力して、豆の木を倒す(巨人を倒す)活動をする。	・豆を「受け取る」「渡す」活動を通して、相手の意図を受け止めて応じる学習ができるようにする。言葉と動作をセットにして言葉の理解を促す。 ・動きや声(音)を手掛かりにして、巨人がいる方向を探索できるようにする。 ・みんなで紐を引いて豆の木を倒せるようにする。「みんなで一緒に」「せーの」の掛け声や声援で、協同の意識をもてるようにする。
まとめ	○振り返り ・本時の活動内容を振り返る。 ○挨拶	・本時の活動を簡単に振り返る。 ・次回の予定を簡潔に伝え、期待感をもてるようにする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・生徒が見やすいように、分配器を使用し、二つの画面で絵本の提示を行う。遠くの画面に注目することが難しい生徒には、手元に絵本を準備する。

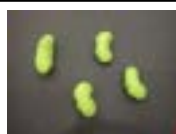


写真1



写真2

- ・教室をカーテンで仕切り、豆を投げ入れることで、扉(写真1)が開き、豆の木と宝物が現れるように設定した。そして、音楽とともに 衝立の裏から巨人が顔を出せる(写真2)ようにした。



- ・教材には、①色味がはっきりとしている、②音が鳴る、③実際に触れることができる、④教職員とのやり取りがしやすい大きさのものを用意した。
- ・登場人物は、大きさの対比や重ねたときに「同じ」が分かりやすいように、輪郭に沿って切り取ったものを用意した。

中学部A3グループ 自立活動を主とする教育課程 「ジャックと豆の木」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・相手と物を「もらう」「渡す」のやりとりができる。
- ・友達と協力して、物語の体験学習を進めていくことができる。



(再話・絵:ジョン・シェリー/訳:おびかゆうこ 2012年 福音館書店)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(1~36)、話す(1~36)
- 読む(1~36)、書く(1~18)
- 数と計算(2~12)
- 量と測定(2~8)
- 図形(2~18)

『学習指導要領の内容』

- 国語:小二段階
- 知技「イ(イ)」
 - 思判表「A(エ)」
- 数学:小一段階
- 知技「Bア(ア)㊦」
 - 思判表「Cア(イ)㊦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示で行う。
展開①	○読み聞かせ	・スライドを使用した読み聞かせを行う。
展開②	○物語の体験 ・母に牛を「いいもの」に換えるように頼まれる。 ・不思議な男に出会い、牛と豆を交換する。 ・母に渡し、豆を植える。 ・大きな豆の木ができる。 ・豆の木を登り、宝物を取ると巨人が現れ、追いかける。 ・「せーの」の掛け声に合わせて、みんなで豆の木を切り倒す。	・登場人物に扮した教職員と、「もらう」「渡す」等のやり取りを行いながら体験学習を進めていく。 ・効果音等を使い、場面変換のタイミングを伝えながら体験できるようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る。 ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○挨拶	・体験学習の感想を聞いた り、上手にできたことを評価したりする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・「もらう」「わたす」のやりとりがしやすい大きさの教材を用意した。牛は実際に引いていけるようにし、豆には鈴を入れて、聴覚からも認識しやすくした。



- ・豆の木は、生徒が見上げることができる大きさにした。そこから巨人が顔を出すことで、雲の上での出来事と認識できるように配慮した。



- ・分配器を使用し、2画面で絵本の提示をおこない、一人一人の生徒が画面を見やすくした。

中学部A1グループ 自立活動を主とする教育課程「ことりをすきになった山

絵本
解説

ねらい

- ・見本に触れて形を感じて選ぶことができる。
- ・友達と協力して、物語の体験学習を進めていくことができる。

教材



(再話・絵: ジョン・シェリー / 訳: おびかゆうこ 2012年 福音館書店)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(4~12)、話す(4~18)
 読む(4~12)、書く(2~12)
 数と計算(2~24)
 量と測定(2~18)
 図形(2~18)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階
 ○知技「ア(イ)」
 ○思判表「Aイ」
 数学: 小一段階
 ○知技「Bア(ア)㊦」
 ○思判表「Cア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○読み聞かせ	・スライドを使用した読み聞かせを行う。台詞の繰り返しに気付くことができるようにする。
展開②	○劇学習 ①山とこたりのやりとりを知る。 ②ことり役になって、葉やりんごを探しに行く。 ③探した葉やりんごをことりに渡す。 ④ことりが山に葉やりんごを貼り、エンディングで緑いっぱいになるようにする。	・葉やりんごの見本を見せたり、触れたり、香りを感じたりして分かりやすくする。 ・探した葉やりんごを見つけ、ことりに渡すことが分かるように繰り返す。
まとめ	○本時の活動を振り返る。 ・取り組んだ活動の確認 ・良かったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、コミュニケーションツールを使用する。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・葉の表面を波型段ボールを使用し、ザラザラ部分を感じられるようにする。



- ・立体のりんごの模型を使用する。香をつける(甘い)。音が鳴るようにする。



- ・岩だらけの山から、緑いっぱいの山になることが分かりやすいように、床面も使用した。
- ・葉やりんごが徐々に増えていくことが分かるようにした。

中学部A2グループ 自立活動を主とする教育課程「こつりを好きになつた山」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・相手の意図を受けて、声を出したり、依頼されたものを手渡したりすることができる。
- ・色や形、感触、香りを手掛かりに、依頼されたものを選択することができる。



(作:アリス・マクレラ絵:エリック・カール
／訳:ゆあさふみえ1987年 偕成社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

聞く(4~12)、話す(4~8)
読む(4~6)、書く(4~12)
数と計算(2~8)
量と測定(2~8)、図形(2~8)

『学習指導要領の内容』

国語:小二段階

- 知・技「アア(ウ)」
- 思・判・表「アイ」

数学:小一段階

- 知・技「ア(ア)①」「イ(ア)②」
- 思・判・表「イ(イ)②」
- 思・判・表「ア(イ)②」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ・今日の授業予定	・タブレット端末のスライド機能を用いて、簡潔に説明する。
展開①	○読み聞かせ ・タブレット端末のスライド機能や絵本を使って物語を見聞きする。 ○物語を振り返る ・あらすじを振り返り、物語に登場するものを見たり、触ったりして確認する。	・テレビを2台使用して注目を促す。遠くの画面に注目することが難しい生徒には、手元に絵本を準備する。 ・読み手を二人(男女)にして、登場人物を意識できるようにする。 ・物語に沿って、登場するもの(緑の葉っぱや赤いりんご)に実際に触れて特徴を確認できるようにする。
展開②	○物語に即した活動 2グループに分けて活動 ①依頼されたもの(緑の葉っぱ、赤いりんご)と同じものを探す。 ②小鳥に扮した教職員に探してきたものを手渡す。 ③山が変化する(暗い山から賑やかな山へ)様子を注意を向ける。	①色や形、感触、香りを手掛かりに、指示されたものと同じものを選択する。誤選択肢には、黄色の四角形を用意することで正答との違いを明確にする。 ②選択したものを小鳥に手渡す活動をする。言葉と動作をセットにすることで、言葉の理解を促せるようにする。 ③色のコントラストを明確にしたり、掛け声や音を取り入れたりして変化を分かりやすくする。
まとめ	○振り返り ・本時の活動内容を振り返る。 ○挨拶	・本時の活動を簡単に振り返る。 ・次回の予定を簡潔に伝え、期待感をもてるようにする。

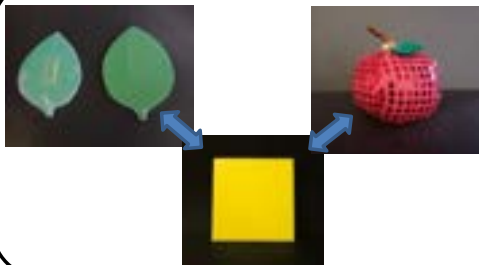
絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・複数の生徒が見やすいように、分配器を使用し、二つの画面で絵本の提示を行う。遠くの画面に注目することが難しい生徒には、手元に絵本を準備する。



- ・使用する教材は、以下の項目を意識して作成した。
 - ①色や素材、形の違いが明確である
 - ②香りを感じることができる(葉っぱ、りんご)
 - ③教職員とやり取りしやすい大きさである
- ・見比べたり、実際に手に取って触れてみたりすることで、依頼されたものを選択できるようにする。



- ・岩山が描かれた布をめくったり、黒色のプラダンボールを開いたりすることで、暗くて寂しい山から緑豊かな山へと、すぐに変化が感じられるようにした。

中学部A3グループ 自立活動を主とする教育課程 「ことりをすきになった山」

絵本
解説

ねらい

- ・素材の違いや色、形を参考にして、指示されたものを選択することができる。
- ・「0」→「たくさん」の違いに気が付くことができる。

教材



(作:アリス・マクレアラ絵:エリック・カール
／訳:ゆあさふみえ1987年 偕成社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

聞く(1～36)、話す(1～36)
読む(1～36)、書く(1～18)
数と計算(2～12)
量と測定(2～8)
図形(2～18)

『学習指導要領の内容』

国語:小二段階

○知技「アア(ア)」

○思判表「アイ、CI」

数学:小一段階

○知技「Bア(ア)㊦、Cア(ア)

㊦」

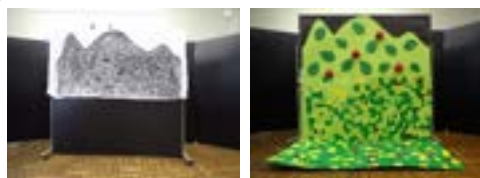
○思判表「Cア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・視覚提示用のスライドを使用する。
展開①	○体験学習 ・教職員による劇を鑑賞する。 ・物語を体験する。 ①岩山が現れる。 ②小鳥が飛んでくる。 ③緑の葉っぱを探しに行く。 ④赤いリンゴを探しに行く。 ⑤緑豊かな山ができあがる。 ⑥山が喜ぶ。	・教員劇を見ることで、体験学習のイメージをもちやすくする。 ・「緑の葉っぱ」と「赤いリンゴ」の選択場面では、黄色の盤を比較対象として、素材の違いや色、形を分かりやすく提示する。
展開②	○読み聞かせ	・スライドを使用した読み聞かせを行う。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○挨拶	・体験学習の感想を聞いたり、上手にできたことを評価したりする。

絵本
解説

活動の教材と使い方

活動
解説



- ・岩山から、瞬時に緑豊かな山へ変えることができるようにするために、布とプラダンボールを使用して山を作製した。



触れたり見比べたりしながら
選択する。

- ・葉っぱは緑、デコボコ素材、平面、リンゴは赤、布素材、立体にし、触れたり見比べたりする際、気が付くきっかけになる要素を複数取り入れた。



- ・教員劇で使用する小鳥の衣装は、絵本の小鳥の色合いに合わせて作製した。

中学部A1グループ 自立活動を主とする教育課程 「しょうぼうじどうしゃ じぶた」

絵本
解説

ねらい

- ・テレビに映した絵本に気付き、視線を向けたり、表情を変えたりする。
- ・登場人物の特徴を捉えた活動を行い、活動に気付き、自分の気持ちを表現する。

教材



渡辺 茂男(作) 山本忠敬(絵)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(1～12)、話す(1～12)
 読む(1～6)、書く(1～6)
 数と計算(1～6)
 量と測定(1～6)
 図形(1～6)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階
 ○知技「ア(イ)・イ(ア)」
 ○思判表「アイ・シア」
 数学: 小一段階
 ○知技「アイ Cイ」
 ○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○始まりの歌 ○出席確認 ○本日の予定	スイッチを使って挨拶を行う。
展開①	○『しょうぼうじどうしゃ じぶた』を画面に映し読みきかせをする。	・効果音を入れ、変化に気付きやすくする。
展開②	○車の特徴を捉える活動 ・のっぽくん→ひもを引っ張り垂れ幕を落とす。 ・ぱんぷくん→風船のふくらみ、風を感じる。 ・いちもくさん→絆創膏を張る。 ・じぶた→ホースを触る。 ・消火活動→水を触る。	・引っ張る負荷を感じられるようにひもをゴムを使って握れるようにする。 ・風船が膨らんでいくことを触ったり、空気が抜ける風を感じたりする
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・それぞれの車の違いを気付きやすくするために、登場する時の効果音、車の色を変えた。



- ・ひもをひっぱることで、はしが落ちてくる因果関係を理解できるよう少し負荷つけたり、鈴を付けて気付きやすくしたりした。
- ・風船が大きくなることに気付けるよう両手で持たせた。

中学部A2グループ 自立活動を主とする教育課程 「しょうぼうじどうしゃ じぶた」

絵本
解説

ねらい

- ・テレビに映した絵本に気付き、視線を向けたり、表情を変えたりする。
- ・登場人物の特徴を捉えた活動を行い、活動に気付き、自分の気持ちを表現する。

教材



渡辺 茂男(作) 山本忠敬(絵)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(1～12)、話す(1～12)
 読む(1～6)、書く(1～6)
 数と計算(1～6)
 量と測定(1～6)
 図形(1～6)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階
 ○知技「ア(イ)・イ(ア)」
 ○思判表「アイ・シア」
 数学: 小一段階
 ○知技「アイ Cイ」
 ○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○始まりの歌 ○本日の予定	・活動の流れは毎回同じに設定し、見通しをもちやすくする。
展開①	○『しょうぼうじどうしゃ じぶた』を画面に映し読みきかせをする。	・効果音を入れ、変化に気付きやすくする。
展開②	○車の特徴(大小)を捉える活動 ・2択の選択課題に取り組む。 ○簡略したあらすじに沿って、体験活動を行う。活動に見通しをもち、期待感を表す。 ・台車(「じぶた」)に乗って車が動く場面を感じる。消防ホースを握る。火事を起こしている家(模型)を見て、ホースを向ける。	・分かりやすい視聴覚機材(タブレット端末)で選択課題を準備する。 ・「じぶた」に模した台車を準備する。 ・生徒自身が操作しやすい大きさのホースを準備する。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・良かったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・読み聞かせの際、画面に注目できるように登場人物に動きと音を付ける。(写真無し)

・具体物、パネル、タブレット端末の写真など実態に合わせて提示するものを変え、般化させる。

・体験活動では、ガタガタ道で感覚的な刺激を与える。

・消火活動では、ホースの握り方、消火の仕方について指導する。

中学部A3グループ 自立活動を主とする教育課程 「しょうぼうじどうしゃ じぶた」

絵本
解説

ねらい

- ・ものの大小と色の違いに気付き、選び取ることができる。
- ・登場人物の行動を模倣し、場面の体験活動をする。

教材



(作 渡辺茂雄 絵 山本忠敬)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(1~18)、話す(1~8)
 読む(1~8)、書く(1~12)
 数と計算(1~8)
 量と測定(1~8)
 図形(1~8)

『学習指導要領の内容』
 国語: 中学部一段階
 ○知技「ア(アイ)・イ(エ)」
 ○思判表「Aア・Cアエ」
 数学: 中一段階
 ○知技「Aア(ア)㊦」「B(ア)㊦」
 ○思判表「Aア(イ)㊦」「C(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶	
展開①	○読み聞かせ ○登場人物の紹介 ○個別課題	スライドに注目できるように、照明や配置の工夫しスライドに効果を付ける。個別課題では、実態に応じて具体物からタブレット端末まで用意し、適宜使用する。
展開②	○体験活動 ・ガタガタ山道走行 ・放水、消火体験	消防隊のヘルメットを被り、雰囲気作りをする。山道走行では、実際に赤い車に乗って走行する。放水体験ではホースを見せ、ホースの短長を選ばせる。
まとめ	○本時の活動を振り返る ○挨拶	どの活動が楽しかったか、パネルと絵本、ヘルメットを見せて選び取らせる。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・読み聞かせの際画面に注目できるように登場人物に動きと音を付ける。(写真無し)

・具体物、パネル、タブレット端末の写真など実態に合わせて提示するものを変え、般化させる。

・体験活動ではガタガタ道で感覚的な刺激を与える。

・山小屋の消火活動ではホースの長さ、水の冷たさについて考えさせる。

中学部A1グループ 自立活動を主とする教育課程 「ちょっとだけまいご」 ねらい

絵本
解説

- ・身体の部位の名称を知り、身体の部分を意識する。
- ・対象物に注目したり、操作したりし、多様な感覚を使って対象物を理解する。

教材



クリス・ホートン(作) 木坂 涼(訳)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(1～12)、話す(1～12)
 読む(1～6)、書く(1～6)
 数と計算(1～6)
 量と測定(1～6)
 図形(1～6)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階
 ○知技「ア(イ)・イ(ア)」
 ○思判表「アイ・シア」
 数学: 小一段階
 ○知技「AA(ア)㊦㊧
 CA(ア)㊦」
 ○思判表「AA(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○始まりの歌 ○出席確認 ○本日の予定	スイッチを使って挨拶を行う。
展開①	○『ちよっただけまいご』を画面に映し読み聞かせをする。	・子フクロウを動かしたり、音楽を付けたりして、興味関心を寄せやすくする。
展開②	○体験学習 ・『体』の歌を歌う。 ・おかあさんを探す。 ・おかあさんと再会する。	・言葉と体の部位を一致できるように体を触りながら確かめる。 ・おかあさんの候補者を赤い箱に入れ、掛け声に合わせて見せ、注目しやすくする。 ・お母さんの候補者を触りながら確かめる。
まとめ	○本時の活動を振り返る。 ・取り組んだ活動の確認 ・良かった所のフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・登場人物を黒い段ボール箱の貼り付け、注目しやすくした。

・お腹がざらざら、背中がふわふわしたぬいぐるみを作成し、ぬいぐるみを触る中で、オノマトペと感触を一致させることができるようにした

中学部A2グループ 自立活動を主とする教育課程 「ちょっとだけまいご」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・物語に出てくる「耳」や「目」が自分の身体のどこにあるかが分かる。
- ・物語の展開に合わせて「長い」耳や「大きい」目をタブレット端末を使って教員に伝えることができる。
- ・物語に出てくる場面の体験活動を繰り返し取り組むことで見通しをもち、教職員の言葉掛けに応じて、行うことが分かり、進んで活動に取り組む。



クリス・ホートン(作) 木坂 涼(訳)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(1~12)、話す(1~12)
読む(1~6)、書く(1~6)
数と計算(1~6)
量と測定(1~6)
図形(1~6)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階
○知技「ア(ア)(イ)」
○思判表「Aア(イ)ア」
数学: 小一段階
○知技「Aア(ア)アイ」
○思判表「Aア(イ)ア」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○本日の予定	
展開①	○『ちよっとだけまいご』を画面に映し読み聞かせをする。	・子フクロウを動かしたり、音楽を付けたりして、興味関心を寄せやすくする。
展開②	○振り返り ・登場人物が何をしたのか確認する。 ・耳や目、長短、大小を顔の模型に触れて確認する。 ○活動 ・ちびふくろうに扮してお母さんを探す。 ・タブレット端末を使用し、一緒に探す。 リスにお母さんがどんな感じが伝える。	・言葉と体の部位を一致できるように顔の模型を触りながら確かめる。 ・タブレット端末のコミュニケーション用アプリを使用して、正解をタップすると音声が出る設定にする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・良かった所のフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方

大小



長短



- ・タブレット端末のコミュニケーション用アプリを使用。長短、大小がわかりやすい絵カードに選択した方が正解であることを分かりやすいように音声を入れた。
- ・耳や目の身体の部位を触れて確かめられるように模型を使用した。

中学部A3グループ 自立活動を主とする教育課程「ちょっとだけまいご」

ねらい・ものの大小と色の違いに気付き、選び取ることができる。

・登場人物の行動を模倣し、場面の体験活動をする。

絵本
解説

教材



(作 クリス・ホートン 訳 木坂 涼)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(1～18)、話す(1～8)
- 読む(1～8)、書く(1～12)
- 数と計算(1～8)
- 量と測定(1～8)
- 図形(1～8)

『学習指導要領の内容』

- 国語：中学部一段階
- 知技「ア(アイ)・イ(エ)」
- 思判表「Aア・Cアエ」
- 数学：中一段階
- 知技「Aア(ア)㊦」「B(ア)㊦」
- 思判表「Aア(イ)㊦」「C(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶	日直の生徒とあいさつをして授業を始める。 本時の流れを説明する。
展開①	○読み聞かせ ○登場人物の紹介 ○個別課題	スライドに注目できるように、照明や生徒の配置を工夫し、スライドに効果を付ける。 個別課題では、タブレット端末の○×アプリを使用する。
展開②	○体験活動 ・リス役の生徒とちびフクロウ役の生徒を決定する。 ・役を指定した2名の生徒がその他の生徒に特長をタブレット端末を使用して伝達し、母フクロウを探す活動をする。	物語の流れに沿って体験活動を展開する。 母フクロウを探す体験学習 ・場面にあった擬音を選ぶ。 ・情報に沿ったキャラクター像を選ぶ。
まとめ	○本時の活動を振り返る。 ○挨拶	生徒各自の良かった点などを振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・個別学習では、生徒の実態や学習到達度などを加味してレベルやジャンルを分けた課題設定をする。

・読み聞かせの際には、スライドや場面の転換が分かりやすいような効果音を付ける。

・体験学習の際には、役の生徒がどの生徒なのかわかりやすいようにパネルやぬいぐるみなどを使用する。

中学部A1グループ 自立活動を主とする教育課程 「ろくべえまってるよ」

絵本
解説

ねらい

- ・物語の世界観を楽しみ、視線、しぐさ、発声等で気持ちを表す。
- ・スイッチを押すことで何かが起こることに気づき、スイッチを押そうとする。

教材



(作: 灰谷健次郎 絵: 長新太)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

聞く(4~18)、話す(4~12)
読む(2~12)、書く(4~12)
数と計算(2~8)
量と測定(2~12)
図形(2~8)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階
○知技「ア(イ)・イ(ア)」
○思判表「Aア・Cエ」
数学: 小一段階
○知技「Aア(ア)⑦Aイ⑦」
○思判表「Aア(イ)⑦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○あいさつ ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○絵本「ろくべえまってるよ」を読む。 ○教員劇「ろくべえまってるよ」を鑑賞する。	・モニターを使って絵本を提示する。 ・リズムや抑揚をつけて読み聞かせを行う。
展開②	○物語体験 ・四つのスイッチの体験 ①犬の鳴き声 ②ライト ③歌 ④サーキュレーター ・かごを降ろす体験	・それぞれコーナーをつくり、活動に集中しやすくする。 ・歌をVOCAに入れる。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ○あいさつ	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・ ついたてでコーナーを作り集中してスイッチ操作できる環境にした。
- ・ うごきんぐを活用し、サーキュレーターやライトをスイッチで付けることができるようにした。
- ・ 紐を付けた籠に犬をのせて、ハンガーラックを通して引っ張り上げられるようにした。

中学部A2グループ 自立活動を主とする教育課程 「ろくべえまってるよ」

絵本
解説

ねらい

- ・物語の世界観を楽しみ、視線、しぐさ、発声等で気持ちを表す。
- ・スイッチを押すことで何かが起こることに気づき、スイッチを押そうとする。

教材



(作:灰谷健次郎 絵:長新太)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(4~18)、話す(4~12)
 読む(2~12)、書く(4~12)
 数と計算(2~8)
 量と測定(2~12)
 図形(2~8)

『学習指導要領の内容』
 国語:小一段階
 ○知技「ア(イ)・イ(ア)」
 ○思判表「Aア・Cエ」
 数学:小一段階
 ○知技「Aア(ア)㊦Aイ㊦」
 ○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○あいさつ ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○絵本「ろくべえまってるよ」の読み聞かせを聞く。	・モニターを使って絵本を提示する。 ・リズムや抑揚を付けて読み聞かせを行う。
展開②	○体験活動 ① ライトを照らす ② 歌を歌う ③ 籠	・それぞれコーナーをつくり、活動に集中しやすくする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ○あいさつ	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

活動の教材と使い方

絵本
解説

活動
解説



- ・ライトをスイッチで付けることができるようにした。
- ・ロープ長いロープと滑車を使い大勢の生徒で協力して取り組めるようにした。
- ・歌を細切れにしてVOCAに録音することによって、期待をもって連続で押すことができる。

中学部A3グループ 自立活動を主とする教育課程 「ろくべえまってるよ」

絵本
解説

ねらい

- ・物語の内容に沿って体験学習を行い、自分の意思で手を動かし、目的を達成しようとする。
- ・絵本の読み聞かせを通して、登場するものの気持ちを表現しようとする。

教材



(作: 灰谷健次郎 絵: 長新太)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(4~8)、話す(4~12)
 読む(4~12)、書く(2~6)
 数と計算(2~8)
 量と測定(2~12)
 図形(2~8)

『学習指導要領の内容』

国語: 小2段階
 ○知技「イ(イ)」
 ○思判表「Aイ及びウ・Cア」
 数学: 小2段階
 ○知技「Aア(ア)㊦」
 ○思判表「Cア(ア)㊦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○あいさつ ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○『ろくべえまってるよ』を読む。 ○穴を覗いてろくべえの様子を確認する。	・同じセリフの繰り返しに気付けるように、強調して読む。
展開②	○子供たちに見つけてもらった時のろくべえの気持ちを考える。「嬉しい、よかった」をスライドを見て学ぶ。 ○グループで話し合いをする。 ○「嬉しい、よかった」の表情について気持ちカードで確認する。 ○うれしい表情の福笑いをする。	・「嬉しい、よかった」の気持ちのカードを全員に見せて、解説する。 ・STと「うれしい」表情のお手本をする。 ・福笑いの見本を見せてから、生徒に配る。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○あいさつ	・本時の活動を実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・段ボールをくりぬいて穴に見立てて、犬のイラストを入れた。生徒が自分でライトをつけて対象物を見る活動である。



- ・「うれしい」という感情を学習するために福笑いを使った。うれしい時、どんな表情になるかを説明した後に、実際に生徒に笑顔の福笑いを作ってもらった。

中学部A3グループ 自立活動を主とする教育課程「カ どこいった？」

絵本
解説

ねらい

- ・描かれている出来事に注目し、変化に気付こうとする。
- ・隠された具体物を探そうとする。

教材

カどこいった?

SHIRYUJI



文・絵 鈴木のりたけ 小学館

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(4~8)、話す(4~12)
読む(4~12)、書く(4~12)
数と計算(2~8)
量と測定(2~12)
図形(2~8)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階
○知技「ア(イ)」
○思判表「アウ・Cイ」
数学: 小一段階
○知技「Aア(ア)④カ」
○思判表「Dア(ア)㉞」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認・クイズ	・見通しをもてるように、スライドに内容を映す。
展開①	○絵本「カ どこいった?」を読む	・大型絵本を使って読み聞かせを行う。
展開②	○体験活動 ・大型絵本をめくる。 ・ペープサートの力をたたく。 ・見えている状態の力をたたく。 ・隠れた力を上からたたいたり、探そうとしたりする。	・生徒がページをめくった時に「べちゃ」「ガチャーン」の掛け声をする。 ・叩いた後、ペープサートを裏にして死んだカカのイラストを見せる。 ・ゆっくり進める。 ・「カはどこにいるかな」と言葉掛けをする。
まとめ	○活動の振り返り ○挨拶	・全員のよかった点を伝える。

絵本
解説

活動の教材と使い方

活動
解説



- ・縦45cm横90cmの大型絵本を用意し、勢いよく叩く場面を体験できるようにした。
- ・全員が体験できるように大型絵本を二つ作成した。
- ・カのペープサートを作成し、叩くと音が鳴る仕組みにした。目的の具体物をきちんと叩けたことの結果を音で実感できるようにした。